



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月26日

上場会社名 ブルドックソース株式会社 上場取引所 東
コード番号 2804 URL <https://www.bulldog.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 石垣 幸俊
問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経営企画室長 (氏名) 佐伯 舞 (TEL) 03(3668)6821
四半期報告書提出予定日 2024年2月5日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	11,053	8.1	320	△1.9	534	△49.2	51	△92.2
2023年3月期第3四半期	10,220	1.5	326	△33.8	1,052	23.9	657	11.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,065百万円(60.9%) 2023年3月期第3四半期 662百万円(167.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	3.86	—
2023年3月期第3四半期	49.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	32,984	20,859	63.2	1,561.84
2023年3月期	36,300	20,257	55.8	1,517.85

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 20,859百万円 2023年3月期 20,257百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2024年3月期	—	17.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,230	5.2	400	△7.2	550	△55.5	50	△91.6	3.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」を参照してください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	13,954,880株	2023年3月期	13,954,880株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	598,854株	2023年3月期	608,854株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	13,351,915株	2023年3月期3Q	13,346,113株

※当社は、「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)は、円安の影響等による物価上昇が緩やかながらも続き、依然として内食に対しては節約志向である一方、イベント、学園祭、地域の祭の再開等を背景に、外食はコロナ前に迫る需要を取り戻し、消費者の購買に対する価値観に変化がみられました。

こうした状況の中、当社グループは第11次中期経営計画「B-Challenge2025」の基本戦略に基づき、当社の主力商品である「家庭用ソース」の「ウスター、中濃、とんかつソース」を54年ぶりに大幅リニューアルいたしました。2023年10月より新容器への切り替え及び認知拡大プロモーションを進め、販売は順調に推移しております。

また、当社グループの主力工場として88年間稼働を続けた鳩ヶ谷工場の生産を終了し、「TATEBAYASHIクリエイションセンター」に生産を移管しました。「TATEBAYASHIクリエイションセンター」は2023年12月に完工し、今後は新たな成長に向けた変革に取り組み、生産性の向上、利益の改善に努めてまいります。

売上高の状況は下記の通りです。

(国内)

「家庭用ソース」はリニューアルした「ウスター、中濃、とんかつソース」の主要都市における認知拡大プロモーションを実施し、新容器への切替えは順調に進み、前年同期比4.4%増の63億3百万円となりました。今後はリニューアルを契機としたソースのメニュー拡大プロモーションを展開し、販売強化に努めてまいります。

「業務用ソース」は、需要の戻りがみられる一方、天候不順による食材不足、継続する人手不足などを背景に低価格帯商品の需要が拡大した他、業務用ルート限定商品である「テーブルソース300ml」等が好調に推移いたしました。また様々な市場価格に応じた品揃え提案から新規採用も増加し、前年同期比14.6%増の28億5千9百万円となりました。

「家庭用(ソース以外)ドレッシング・たれ等」は、「&ブルドックドレッシング」、「野菜のドレス」それぞれの商品価値が評価され、前年同期比13.3%増の10億3千3百万円となりました。「&ブルドックドレッシング」では、プロモーション活動と連動した生産者支援に繋がる取り組みを行い、更なるブランド価値向上、認知拡大を図ってまいります。

「家庭用(ソース以外)その他」は、前年同期比3.4%減の4億4千1百万円となりました。

(海外)

「輸出」は、米国、欧州向けが堅調に推移し、前年同期比34.0%増の3億3千7百万円となりました。今後は、現地インポーターと連携し、現地での試食会、商談会などのマーケティング活動に積極的に取り組んでまいります。

「現地法人(上海)」は、前年同期比12.0%増の7千8百万円となりました。

この結果、売上高は前年同期比8.1%増の110億5千3百万円となりました。営業利益は、増収効果はあるものの、原材料価格高騰及び「TATEBAYASHIクリエイションセンター」の設備投資による減価償却費の増加等に伴い、前年同期比1.9%減の3億2千万円、経常利益は、前第3四半期連結累計期間に投資有価証券売却益5億4千4百万円の計上があったため、前年同期比49.2%減の5億3千4百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、事業再構築費用3億7百万円と鳩ヶ谷工場生産終了に伴う減損損失8千5百万円を計上したため、前年同期比92.2%減の5千1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間において生産体制再構築に伴う設備投資の支払を行っており、前連結会計年度末に比べて現金及び預金、未払金が減少しております。

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて33億1千6百万円減少し、329億8千4百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末に比べて43億2百万円減少し、83億2千2百万円となりました。

固定資産は、株価の上昇による投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べて9億8千6百万円増加し、246億6千1百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて39億1千9百万円減少し、121億2千4百万円となりました。

流動負債は、未払金の減少などにより前連結会計年度末に比べて39億3千6百万円減少し、54億2百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1千7百万円増加し、67億2千2百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、その他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて6億2百万円増加し、208億5千9百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2023年10月27日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,056	1,035
売掛金	4,473	5,172
商品及び製品	1,660	900
原材料及び貯蔵品	172	220
仕掛品	22	21
その他	239	972
流動資産合計	12,625	8,322
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,322	7,277
機械装置及び運搬具（純額）	1,847	4,777
土地	2,784	2,784
建設仮勘定	8,352	25
その他（純額）	189	285
有形固定資産合計	15,496	15,150
無形固定資産	64	133
投資その他の資産		
投資有価証券	7,337	8,691
繰延税金資産	97	91
その他	688	602
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	8,115	9,377
固定資産合計	23,675	24,661
資産合計	36,300	32,984

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,858	1,632
電子記録債務	437	298
短期借入金	125	370
1年内返済予定の長期借入金	671	630
未払法人税等	263	4
未払金	4,448	1,025
未払費用	1,322	1,229
賞与引当金	169	104
その他	42	107
流動負債合計	9,338	5,402
固定負債		
長期借入金	4,986	4,554
繰延税金負債	715	1,093
退職給付に係る負債	919	940
役員株式給付引当金	22	32
執行役員退職慰労引当金	36	61
長期末払金	14	14
その他	11	24
固定負債合計	6,704	6,722
負債合計	16,043	12,124
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	15,452	15,031
自己株式	△804	△794
株主資本合計	18,257	17,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,973	2,986
為替換算調整勘定	17	23
退職給付に係る調整累計額	9	4
その他の包括利益累計額合計	2,000	3,014
純資産合計	20,257	20,859
負債純資産合計	36,300	32,984

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	10,220	11,053
売上原価	6,889	7,563
売上総利益	3,331	3,489
販売費及び一般管理費	3,004	3,169
営業利益	326	320
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	196	198
投資有価証券売却益	544	13
受取保険金	—	21
その他	7	10
営業外収益合計	748	244
営業外費用		
支払利息	11	24
支払手数料	4	—
為替差損	6	4
その他	0	1
営業外費用合計	22	30
経常利益	1,052	534
特別損失		
固定資産除却損	12	22
減損損失	—	85
投資有価証券評価損	0	11
事業再構築費用	85	307
その他	—	3
特別損失合計	98	430
税金等調整前四半期純利益	953	103
法人税等	296	52
四半期純利益	657	51
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	657	51

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	657	51
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	1,012
為替換算調整勘定	9	5
退職給付に係る調整額	△5	△4
その他の包括利益合計	4	1,014
四半期包括利益	662	1,065
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	662	1,065
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。